

参考資料 博物館・資料館及びその複合施設

博物館・資料館及びその複合施設の設置状況

●施設数

博物館・資料館及びその複合施設（以下、博物館・資料館と言う）を設置主体別・運営形態別に集計したのが【表30】である。複合施設を構成している個別施設単位でカウントした延べ施設数で集計した結果、2000年3月末までに設置された施設として回答があったのは、博物館702館、資料館795館だった。博物館の設置主体別の内訳は、都道府県設置99館、政令市39館、市区町村564館で、市区町村設置施設が全体の80.3%に上っている。また、資料館はほとんど（全体の93.6%）が市区町村設置施設だった。

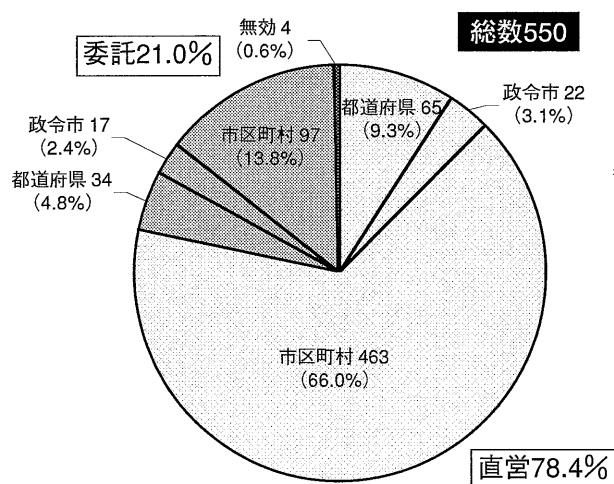
博物館・資料館の運営形態の割合を示したのが【図36】【図37】である。博物館全体で直営館78.4%（550館）、委託21.0%（148館）、資料館全体で直営館80.6%（641館）、委託18.7%（149館）といずれも直営率が高くなっている。

【表30】博物館・資料館の設置主体別・運営形態別施設数

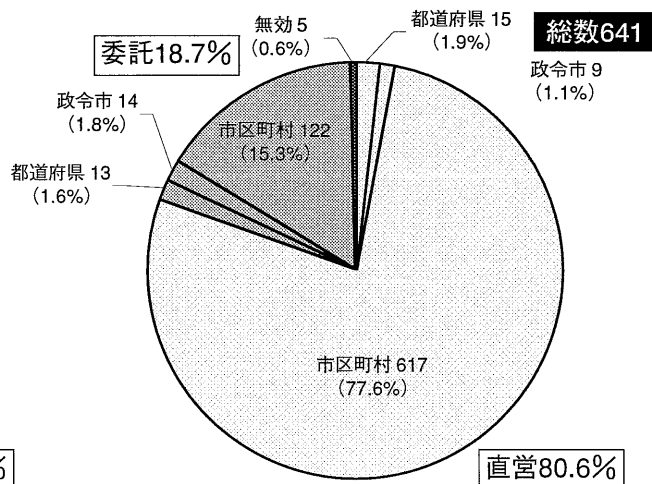
設置主体	博物館				資料館			
	直営	委託	無効	総計	直営	委託	無効	総計
都道府県計	65 (65.7)	34 (34.3)	0	99	15 (53.6)	13 (46.4)	0	28
政令市計	22 (56.4)	17 (43.6)	0	39	9 (39.1)	14 (60.9)	0	23
市区町村計	463 (82.1)	97 (17.2)	4	564	617 (82.9)	122 (16.4)	5	744
総計	550 (78.4)	148 (21.0)	4	702	641 (80.6)	149 (18.7)	5	795

※（ ）内は構成比

【図36】博物館の直営・委託比率



【図37】資料館の直営・委託比率

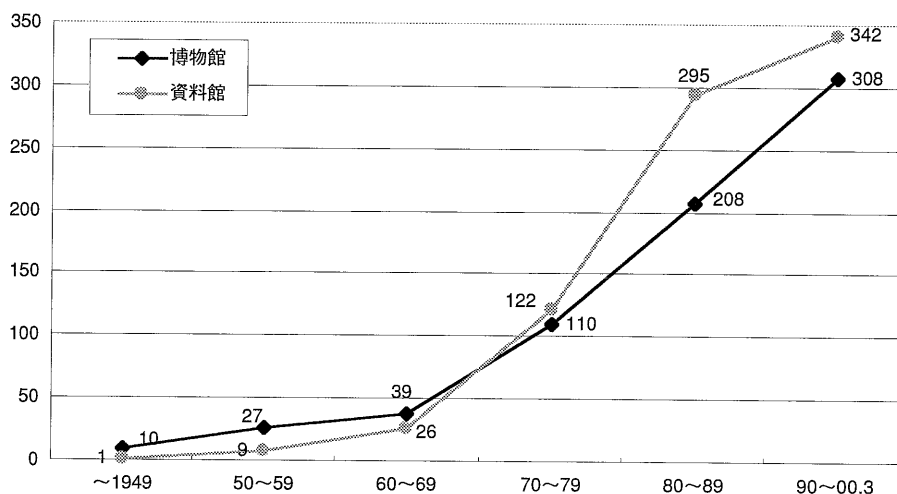


●年代別施設設置数の推移

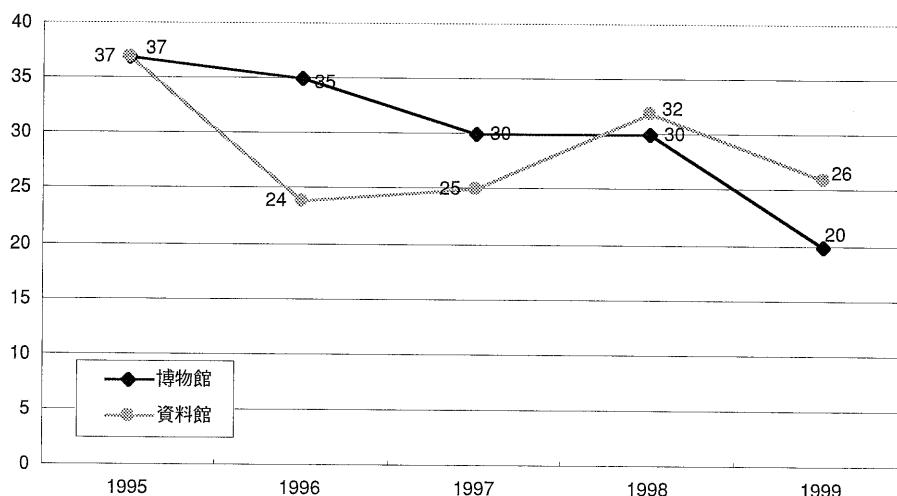
博物館・資料館の年代別施設設置数の推移を設置主体別に示したのが【図38】である。開館年代別に見てみると、60年代には10年間で博物館39館、資料館26館しか設置されていなかったのが、70年代にはそれぞれ110館、122館、80年代208館、295館、90年代には308館、342館（2000年3月まで含む）とホール施設同様、急速に施設が設置されている。最も多くの施設が設置されたのは90年代で、博物館全体の43.9%、資料館全体の43.0%がこの10年間に設置され、80年代と合わせると、この20年間で実に博物館の73.5%、資料館の80.1%が設置されているという結果となった。

近年の博物館・資料館設置数の推移を単年で見たとのが【図39】である。博物館では95年をピークに年間設置数は減少している。

【図38】博物館・資料館設置数の推移（暦年）



【図39】近年（95-99）の博物館・資料館設置数の推移（暦年）



●博物館の収藏品点数と購入費

博物館の収藏品点数と収藏品購入費を設置主体別に集計したのが【表31】である。博物館で収藏品があると回答した施設は702館中548館で全体の78.1%だった。収藏品の総計は12,067,733点で、1館あたりの平均収藏品点数は26,177.3点となっている。また、収藏品購入費の総額は8,176,911千円で、1施設あたりの平均購入費は31,210千円だった。設置主体別に見ると、政令市設置施設の購入費が243,458千円と群を抜いて多くなっているのが目を引く。

設置主体別、施設形態別に平均収藏品点数を比べたのが【図40】である。収藏品点数の面からも政令市設置施設の点数の多さが際だっており、政令市が博物館運営に積極的に取り組んでいる様子がうかがえる。

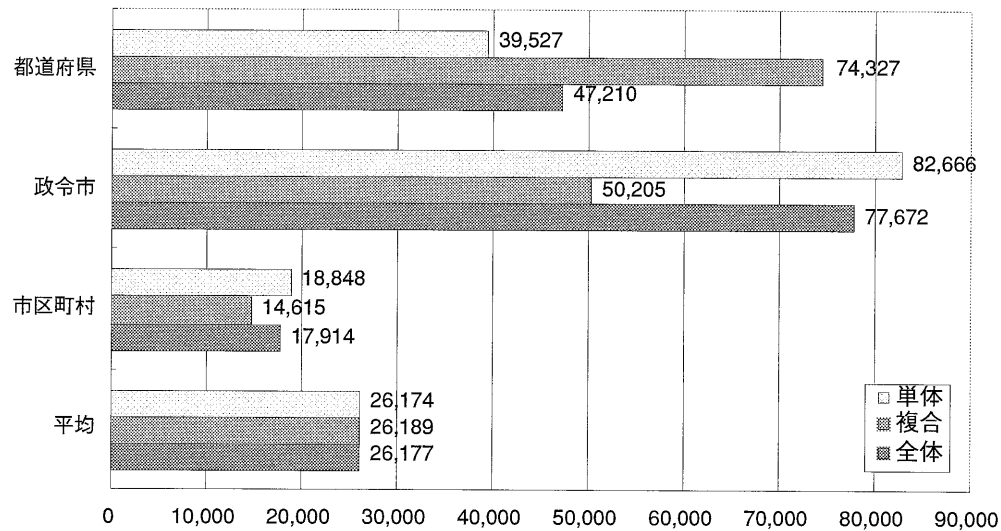
収藏品点数別の施設割合を示したのが【図41】である。最も割合が多いのが収藏品点数10,000点以上の博物館で、全体の37.7%（191館）を占めていた。

【表31】 設置主体別収蔵点数と購入費

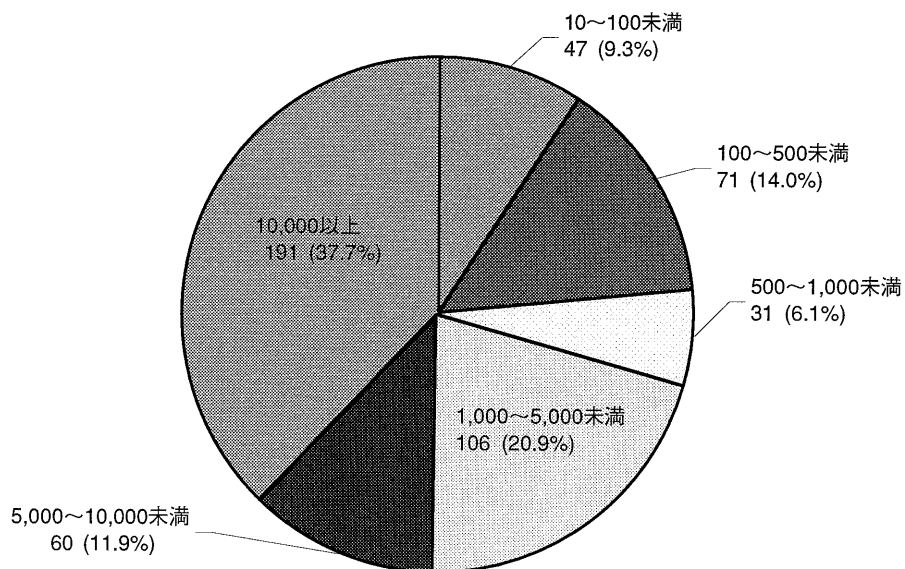
主体	博物館総数	収蔵施設数	収蔵品総数	平均収蔵 点数	購入費 (千円)	平均購入費 (千円)
都道府県	99	80 (80.8)	3,635,162	47,210	929,116	16,300
政令市	39	32 (82.1)	2,019,467	77,672	6,329,908	243,458
市区町村	564	436 (77.3)	6,413,103	17,914	917,887	5,128
総計	702	548 (78.1)	12,067,733	26,177	8,176,911	31,210

※ () 内は博物館総数に対する割合。平均値は有効回答数を母数として算出

【図40】 1館あたりの平均収蔵点数の設置主体別・施設形態別比較



【図41】 収蔵点数別の施設割合



●資料館の収蔵品点数と購入費

資料館の収蔵品点数と収蔵品購入費を設置主体別に集計したのが【表32】である。資料館で収蔵品があると回答した施設は795館中463館で全体の58.2%だった。収蔵品の総計は6,055,317点で、1館あたりの平均収蔵点数は15,935点となっている。また、収蔵品購入費の総額は672,110千円で、1施設あたりの平均購入費は5,948千円だった。

設置主体別、施設形態別に平均収蔵点数を比べたのが【図42】である。都道府県設置の単館施設で収蔵点数が52,043点と群を抜いて多いのが目を引く。

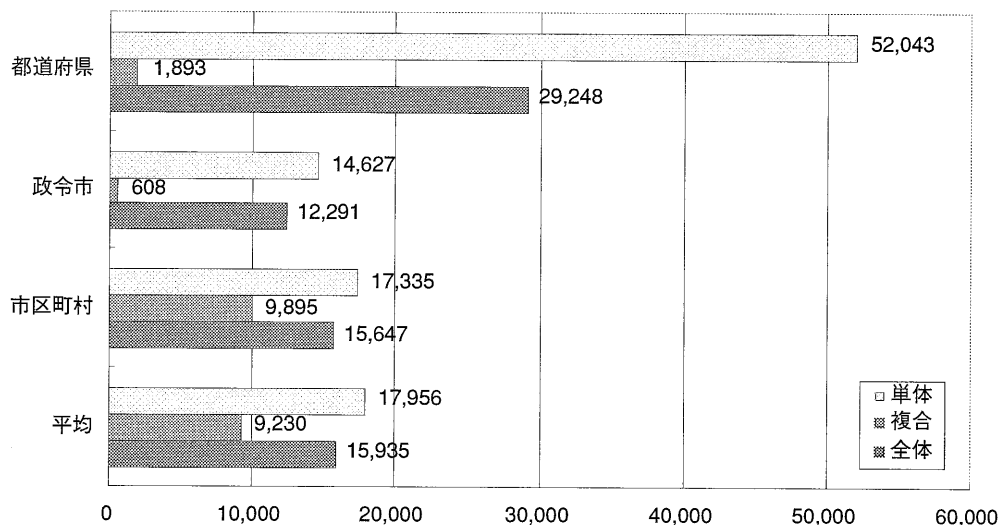
収蔵点数別の施設割合を示したのが【図43】である。収蔵品点数10,000点以上の資料館が有効回答数の20.9%、1,000～5,000点未満が28.2%、100～500点未満が19.3%と収蔵点数による施設割合にあまり差はみられなかった。

【表32】設置主体別収蔵点数と購入費

主体	資料館総数	収蔵施設数	収蔵品総数	平均収蔵点数	購入費(千円)	平均購入費(千円)
都道府県	28	12 (42.9)	321,725	29,248	18,534	3,089
政令市	23	15 (65.2)	147,488	12,291	48,040	6,863
市区町村	744	436 (58.6)	5,586,104	15,647	605,536	6,055
総計	795	463 (58.2)	6,055,817	15,935	672,110	5,948

※ () 内は資料館総数に対する割合。平均値は有効回答数を母数として算出

【図42】1館あたりの平均収蔵点数の設置主体別・施設形態別比較



【図43】収蔵点数別の施設割合

